

「大学生のためのお金の教室～外貨建て資産も持つべき？」

ファイナンシャルプランナー 江尻正幸

こんにちは、ファイナンシャルプランナーの江尻正幸です。

外貨建て資産を持つ必要性がさまざまな媒体で叫ばれ、円建て資産のみを保有するリスクを意識する学生の方とよくお会いします。

今回は、この点に関するご相談です。

【質問】

知人から、円建て資産だけを持つことは危険であると聞きました。

外貨建て資産を持つべきでしょうか？

また、どのような資産運用方法があるのでしょうか？

(山野さん 大学3年生)

(知人から外貨建て資産運用を勧められ、悩んでいる)

【回答】

まず、ここ10年の為替レート（米ドル/円）を確認してみましょう。

(図1) 為替（米ドル/円）推移（2012年9月24日時点）



出所：yahoo!japan

図1を見てもわかるように、2008年ごろから円高が進行していることが読み取れます。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

もちろん、他にもさまざまな要素を考慮して「高い・安い」を判断すべきですが、今回は名目値だけに着目することとします。

さて、こういった為替推移と日本の財政問題などを絡めて、「将来、円の価値が下がることに備えるべき!」、「円高の今こそ、外貨投資を始めよう!」といった意見を耳にする学生の方が増えています。

しかし、基本的な仕組みやリスクについて理解せず、周囲に勧められるがまま、いきなり高リスクなものに手を出す方も少なからずいらっしゃいます。

山野さんも、この点が気がかりなようです。

●外貨建て資産運用の基本的な仕組み

まず、基本的なことから確認していきましょう。

外貨建て資産運用の特徴の一つとして、為替差益を得ることが可能であることが挙げられます。

為替差益とは、たとえば円高時に外貨建て資産を購入し、円安時に換金することで享受できます。

《例1》

- (1) 1米ドル=80円のとき、山野さんが1,000米ドルを購入
- (2) 1米ドル=90円のとき、(1)を円転
- (3) 10,000円の為替差益を得る

つまり、円以外の資産を持つことは、円安になったときの備えとなるのです。

一方、山野さんが外貨建て資産を購入した時点よりも円高が進行していた場合、為替差損を被ることになります。

《例2》

- (1) 1米ドル=80円のとき、山野さんが1,000米ドルを購入
- (2) 1米ドル=70円のとき、(1)を円転
- (3) 10,000円の為替差損を被る

仮に、数年～数十年かけて現在の水準よりも円安になると山野さんがお考えならば、今か

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

ら外貨建て資産を保有するとよいでしょう。
もちろん、当面の生活資金は円建てで確保しておくべきです。

●お手軽な外貨建て資産運用は？

外貨建て資産運用として、外貨預金や FX を思い浮かべる方はとても多いです。
一方、外貨建て MMF をご存じではない方が比較的いらっしゃいます。

(図 2) 外貨建て MMF の特徴

概要	主なメリット	主なデメリット
元本確保を目指しつつ、 外貨建て証券で運用される投資信託	・少額から利用可能 ・原則、いつでも自由に 解約可能	・為替リスクがある ・元本保証はなし

山野さんのように何も経験が無い方は、外貨建て MMF から始めてみるとよいかもしれません。

図 2 からわかるように、リスクをあまり背負わずに、外貨建て資産運用の仕組みを理解できます。

また、外貨預金で比較的高い手数料を支払ったり、ついつい FX で高レバレッジをかけてしまったりすることを避けたい方も、活用を検討してみるとよいでしょう。

ほとんどの場合、外貨 MMF の方が手数料は低く設定されております。

もちろん、レバレッジをかけることはできません。

周囲の意見に惑わされず、しっかり仕組みやリスクを理解してから外貨建て資産運用を開始しましょう。

大学生である山野さんならば、それから運用を始めても遅いことはありません。